

新刊紹介

- 一般書
- 児童書



●東京、はじまる／門井 慶喜(著)／文藝春秋

●嫁ぐ日 狸穴あいあい坂 4／諸田 玲子(著)／集英社

●沢村貞子の献立 料理・飯島奈美／飯島 奈美(著)／リトルモア



○ぱかぱかももんちゃん／とよた かずひこ(さく・え)／童心社

○イチからつくるプラスチック／岩田 忠久(編)／内田 かずひろ(絵)／農山漁村文化協会

○まっしょうめん! 3 胴を打つ勇気／あさだ りん(作)／新井 陽次郎(絵)／偕成社

移転に伴う休館について

図書館は館内大規模改装工事をします。
 ・6月1日(月)～30日(火)まで移転準備のため休館します。
 ・7月1日(水)から南薩地域地場産業振興センター2階で運営します。
 ご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。皆さんの来館をお待ちしております。

配本所の本が入れ替わりました

市内8ヶ所に配本所を設置しています。年に一回の本の入れ替えを行い、一般書から児童書までさまざまなジャンルの本を揃えてあります。

図書館は遠くて…という方など、お気軽に最寄りの配本所をご利用ください。

■入れ替えのあった配本所

- 健康センター(350冊)
- 松之尾センター(400冊)
- 立神センター(500冊)
- 別府センター(400冊)
- 城山センター(500冊)
- 金山センター(500冊)
- 児童館(200冊)
- 児童センター(500冊)

音訳ボランティア「ひだまり」について

視覚障害者のための広報音訳ボランティア「ひだまり」は、約20年にわたり広報まくらざきを音訳し、CD媒体に記録して視覚障害の方に毎月の掲載内容をお届けしています。

現在、会員募集中です。詳しくは市立図書館までお問合せください。



市立図書館 ☎ 72-9254

ホームページ

<https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/library/>

★開館時間 9:30～18:00

カレンダー 5月10日～6月9日

日	月	火	水	木	金	土
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9				

□ 休館日



- 活動内容 毎月、「広報まくらざき」をCDに音訳し、視覚障害の方へお届けしています。
- 今月の担当 牛山さん、野村さん
- 会員募集中 問い合わせは図書館まで。

枕崎の特色ある教育

コミュニティ・スクールの取り組み

問合せ 学校教育課 TEL72-0170

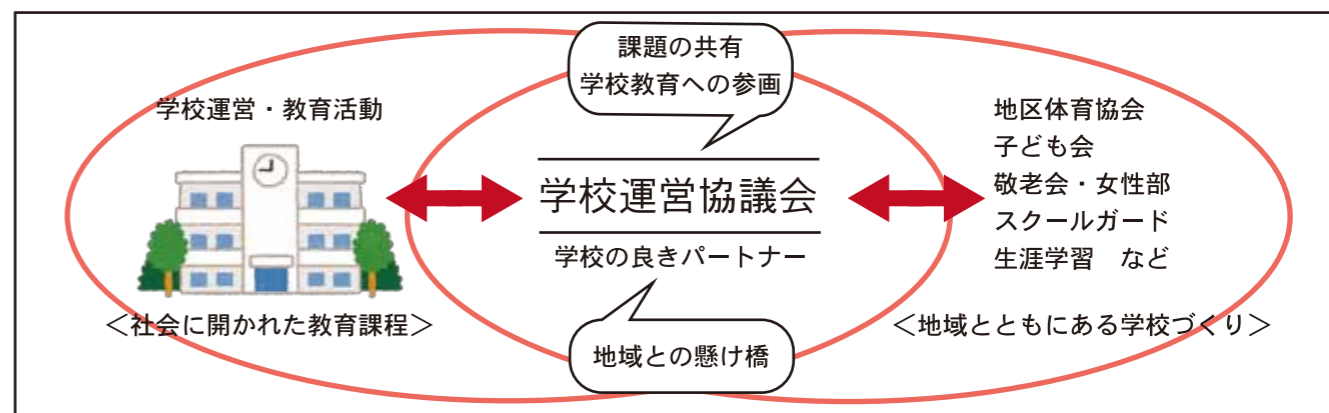
コミュニティ・スクールの導入

令和2年度から、枕崎小学校と枕崎中学校に学校運営協議会を設け、コミュニティ・スクール(CS)を導入しました。「コミュニティ・スクール」とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会が任命する委員(保護者や地域の皆さんなど)で構成する学校運営協議会を設置した学校を指します。

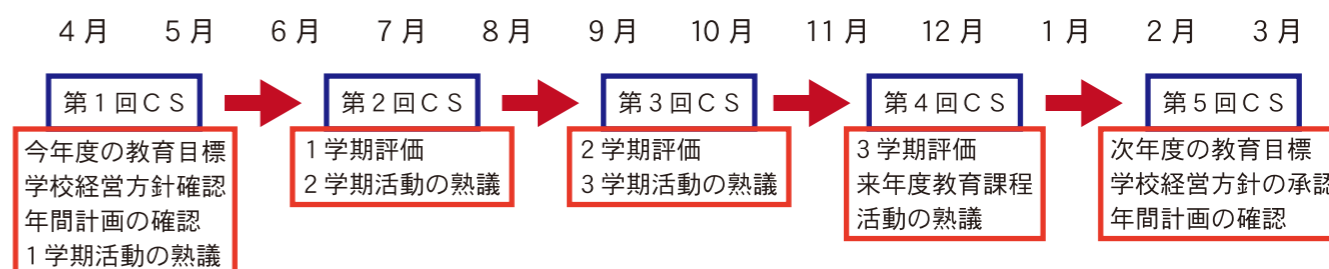
学校運営協議会では、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりするなどの協議が行われます。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進め、学校のよきパートナーとなる仕組みです。

コミュニティ・スクールの構想図



年間の活動例



※上記は活動例であり、学校の実情に応じて学校運営協議会を開きます。

防災一口メモ

いざという時のために



自らを守る防災④(安全な場所へ 屋外編)

地震発生時にブロック塀の近くにいた場合は、ブロック塀が倒れたりする危険性があるので、ブロック塀から離れましょう。また、看板等を設置している場所では、看板等の落下に気を付け、建物等から離れ、身の安全を守りましょう。例えば近くにある駐車場やグラウンドなど、落下物の少ない場所に避難しましょう。

普段から、身近にある安全な場所を確認しておきましょう。

問合せ 総務課危機管理対策係 TEL72-1111(内線214)

環境・ごみ減量・動物愛護などに関する情報を発信するコーナーです。



今月のテーマ

ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を導入

4月からごみ分別アプリ「さんあ〜る」を導入しました。このアプリには、ごみの分別方法の検索機能や収集日をお知らせする機能が備わっています。

市民の皆さんもぜひダウンロードしてご活用ください。また身近な人にもお知らせして頂けると幸いです。操作方法についての質問や、お気づきの点がありましたら市民生活課環境整備係までお問い合わせください。



アップルストアからダウンロード (お使いの端末がiOSの方)

問合せ 市民生活課環境整備係 TEL72-1111(内線325)

健康ちゃんねる

問合せ

健康センター
TEL72-7176

マスクの正しい使い方

感染症対策のため、外出時にはマスクの着用がすすめられています。正しい装着方法を知り、むだなく有効に活用しましょう。

■マスクの正しい使い方

マスクには、咳やくしゃみの飛沫の飛散を防いだり、飛沫やほこり等の粒子をキャッチして体内に侵入することを抑制する働きがあります。しかし、顔とマスクの隙間があいていると、マスクのフィルターを通さずに吸い込まれる空気が多くなり、それだけマスクの効果は低くなります。

ウイルス・菌の侵入を防ぐためにはマスクと顔の隙間を作らないことが重要です。

【装着する時】

①ゴムひもで固定し、鼻、口、あごを覆う。特に鼻と口の両方を確実に覆うことがポイント。

②鼻の部分を押さえてフィットするように調節する。

③隙間がないように調整する。



▲正しい装着方法

【使用中】

マスクになるべく触らないようにする。特に、口周りを覆うフィルター部分には触らないよう注意し、触った時はすぐに手を洗う。

【外す時】

①マスクの表面を触らないように、片耳のゴムひもを持ち、耳からはずす。

②ゴムひもの部分を持ち、ふたのついた「3箱」または「2ル袋」等に入れて、口を閉じて捨てる。

③すぐに手を洗う。

■誤った使い方の例

飲み物を飲むときなどにマスクをあごや首までマスクを下げてしまうと、表面部分が鼻や口に触れてしまいます。鼻だけ出しても同様です。誤った使い方をすると、予防効果が得られず、ウイルス・菌を広げることになるので注意しましょう。

■着けたマスクの二時保管
マスクを外した時は、表面を内側にして折り畳んで二つ折りにして保管してください。

あくまでも手洗い・うがいが基本です。マスクがない場合は、くしゃみや咳をする時にハンカチや袖口で口を覆う「咳エチケット」を!

